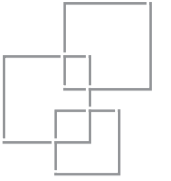


9月定例会では、9月4日から6日にわたり19人の議員が一般質問を行い、太田市政の現状や将来に対する方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認のうえ1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介しします。なお、一般質問の様子は太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで12月下旬からご覧いただくことができます。詳しいことは、議会事務局（☎0276-47-1806）までお問い合わせください。



## ごみの不法投棄について

太田クラブ 八長 孝之

**議員** 環境政策課と清掃事業課において、過去3年間で不法投棄物を回収した件数を伺います。

**産業環境部長** 環境政策課における回収件数は、平成28年度117件、29年度111件、30年度70件です。清掃事業課においてごみステーションの不法投棄を回収した件数は、28年度395件、29年度341件、30年度296件です。

**議員** 30年度は回収件数が減少しています。現状の取り組みと今後の対策について伺います。

**産業環境部長** 今年度は事業系ごみの適正処理を促すため、委託事業者の新規開拓や、分別方法や回収日の分かるごみアプリケーションの導入等を行いました。今後は、市民や事業者に対し、今まで以上に不法投棄禁止の啓発活動をしていきたいと思っています。

**議員** ごみの不法投棄について、市長の所見を伺います。

**市長** 法律に違反しているわけですか

ら、市民一人一人の意識の問題と考えます。本市全体を見る限りでは、昔に比べるときれいになり、市民の信頼はずっと厚くなっています。さらに意識を高めてもらえるよう、啓発事業を継続していきたいと思っています。

**議員** 自主的に不法投棄への対応をしてくれている区長や環境保健委員等の心意気に応えるためにも、政策の見直しや新たな取り組みができないか、市長の所見を伺います。

**市長** 不法投棄の多い地域があるならば、注視していきたいと思っています。



■その他の質問  
・保険証のカード化について



## 附属機関等の定員充足について

創政クラブ 板橋 明

**議員** 本市における附属機関の数、委員の定数と実数、男女比を伺います。

**企画部長** 附属機関は39機関で、委員の定数は合計668人、実数は合計560人です。男女比については男性が79.6%、女性が20.4%です。



**議員** 「太田市審議会等の取り扱いに関する指針」では、「太田市男女共同参画基本計画」に基づき女性委員の割合が33%以上になるよう努める旨の記述があります。この目標に対する現状と今後の取り組みについて伺います。

**企画部長** 現在、女性委員の割合はほぼ横ばいで推移していますが、令和4年度末までに目標値を達成できるよう取り

組んでいるところです。

**議員** 附属機関の委員の充足率について、指針を管理する立場から所見を伺います。

**企画部長** 委員の充足率83%、実人員で108人不足という現状を踏まえて、指針に基づき、各所管において適正化に向けて取り組んでいきたいと思っています。

**議員** 市の附属機関である委員会や審査会、審議会など、市民の意見や考えを求める場が定数を満たしていないことについて、市長の所見を伺います。

**市長** ご指摘いただいたことで実態を知ることができ、感謝しています。それぞれの機関において、定数の妥当性を精査した上で、必要な機関についてはいろいろな分野の方々に声掛けをし、人材確保のために努力していきたいと思っています。

■その他の質問

- ・区長、区長代理等の補償拡充について
- ・民生委員・児童委員への支援について



## 高齢ドライバーの交通事故抑制に向けた施策について

公明クラブ 前田 純也

**議員** 本市の運転免許所有者のうち65歳以上の割合と、65歳以上の人口のうちの運転免許所有率を伺います。

**市民生活部長** 平成30年度は、それぞれ25.1%、70.1%となっています。

**議員** 65歳以上を対象に、運転支援システム「アイサイト」搭載車の購入に対する補助金交付事業を行うとのことですが、予定と周知方法を伺います。

**市民生活部長** 令和元年10月1日から施行予定です。広報おたへの掲載や市のホームページ、行政センター等で周知を行うことを考えています。

**議員** 車を運転する65歳以上の方の人数から、さらに幅を広げた事業の実施



も必要と考えます。後付けの踏み間違い防止装置について周知したり、その設置費用の一部を市が負担したりすることについて、所見を伺います。

**市民生活部長** 運転支援システム付自動車購入補助金交付事業の実施状況を見ながら、調査や検討をしていきたいと思っています。

**議員** 高齢者が少しでも安心して運転できるよう、踏み間違い防止装置の設置費用の一部を市が負担することについて、市長の所見を伺います。

**市長** 事故を起こしたくない人は、自分で装置を取り付けるのが原則と思っています。運転支援システム付自動車購入補助金交付事業については、今回はSUBARUのみを対象としましたが、SUBARU以外のメーカーや、後付けの踏み間違い防止装置を対象に加えることも検討していきたいと思っています。

■その他の質問  
・各種けんしんの受診率向上について



## 災害級の猛暑から市民を守る方策について

創政クラブ 今井 俊哉

**議員** 高齢者向けのエアコン設置費の助成等について、本市および他の自治体における状況を伺います。

**健康医療部長** 本市では助成を行っておりません。県外では上限3万5,000円から5万円程度の範囲で助成を行っている自治体もあります。

**議員** 市営住宅に入居する高齢者世帯に対する、エアコン設置への配慮について伺います。

**都市政策部長** 高齢者に限ったものではありませんが、エアコン専用のコンセントが住宅内にはない場合は、1カ所に限り設置するサービスを行っています。

**議員** 小中学校における熱中症対策について伺います。

**教育部長** 普通教室および利用頻度の高い特別教室に、全校でエアコンを設置しており、今年度中に理科室のエアコン設置も完了する予定です。屋外には全校にミスト発生装置を設置しています。また、児童生徒に水筒を持参させる、暑さが厳し

いときはプールの授業を中止するなど、学校や児童生徒の実態に応じて対応しています。

**議員** 近年の夏の異常な暑さを考えると、災害への対応と同様に、猛暑へも組織的に対応する必要があると感じますが、市長の所見を伺います。

**市長** 自分の命は自分で守るという考えが前提ですが、おとしより見守り隊やふれあい相談員、民生委員等を通じて注意喚起をしていくことが大切だと思います。エアコン設置費の助成については検討したいと思っています。

■その他の質問

- ・本市の雨水排水対策について

